

看護にいかす インストラクショナルデザイン

効果的・効率的・魅力的な研修企画を目指して

著：浅香えみ子／医学書院

定価：2800 円＋税／TEL：03-3817-5657

●看護の領域では、他職種に抜きんで多くの研修が企画、実施されている。一方で、研修担当者や、管理者からは、思ったほどに成果が上がらないという声が聞こえるのも事実。本書は、「学習者にとって最適な学習デザインを設計すること」を目指すインストラクショナルデザイン（ID）＝教授設計を、現場の研修にとり入れる手法を、わかりやすく解説。ニーズ分析、明確なゴール設定と実施、そして評価と、学習者の主体的な学びを軸に展開される研修は、看護職 1 人ひとりの成長を支援する。研修見直しのポイントがここに！

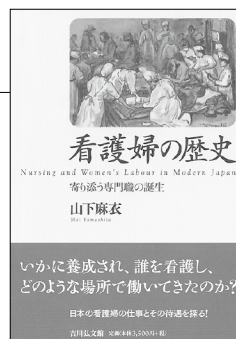
看護婦の歴史

寄り添う専門職の誕生

著：山下麻衣／吉川弘文館

定価：3500 円＋税／TEL：03-3813-9151

●「『看護婦』と称される主体が、どのように養成され、誰を看護し、どのような場で働いてきたのか」「（はじめに）より。労働史研究の立場から、日本赤十字社、済生会、聖路加病院、派出看護婦会などにおける「看護婦」の活動に注目し、看護職の労働実態を描き出す。時代に要請に応え、常に誇り高く、患者に寄り添い歩んできた看護職。いまなお多様な養成課程と准看護師問題をもちながら、あるべき姿を追求する立脚点を示唆する力作！



迷走する外国人看護・介護人材の受け入れ

著：布尾勝一郎／ひつじ書房

定価：1600 円＋税／TEL：03-5319-4916

●2008 年より、EPA に基づく看護師・介護福祉士受け入れが政府主導により始まったが、受け入れ側、申し込み側双方の努力もむなしく、この動き全体が成功しているとは言い難い状況にある。一体何が起きているのだろうか。国会、厚生労働省有識者会議、新聞報道の豊富な資料などが手際よく整理された本書は、今後、受け入れがまさに欠かせなくなる、来るべき時代を考えるうえで読んでおきたい労作。国際看護の副読本や学校図書館などに是非。

認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント

第 3 版 快一徹！脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう

編著：山口晴保／著：佐土根朗・松沼記代・山上徹也／協同医書出版社

定価：3500 円＋税／TEL：03-3818-2361

●本書 1 冊で、認知症の基礎知識から診断・評価・治療の最新情報、リハ、ケア、食生活など全体像を伝える。今回の改訂では、第 1 部の概論に米国精神医学会の新しい診断基準である DSM-5 を反映させ、第 2 部のケアにユマニチュードなどの新しい手法を紹介、第 3 部でさまざまな脳活性化リハビリテーションの有用性を説く。意欲の源を笑顔に求め、ポジティブな働きかけ、コミュニケーション、そして究極のダイバーショナル・セラピー（Diversional Therapy）と進行を防ぎ、ケアする人、される人、双方に明るい未来を示唆する。

